



海洋深層水利用の将来像「久米島モデル」



早いもので、この海洋深層水についての連載も今回で11回目になります。これまで10回にわたって、海洋深層水の魅力や島にもたらした効果等について紹介してきました。そこで今回と次回は、未来に目を向けて海洋深層水利用の将来像「久米島モデル」についてお話ししたいと思います。

海洋深層水は現在でも、島の産業振興はもちろん、二酸化炭素排出削減や教育への活用など、島の魅力向上につながる様々な貢献をしています。これを未来に向けてさらに大きく広げていくためには、取水規模の拡大が必須です。たとえば、久米島の現取水施設での取水量は一日13,000トンが上限ですが、世界最大の取水地のハワイ島では、アワビの養殖に1日50,000トンを超える海洋深層水が使われています。海洋温度差発電の商用展開にも、なるべくたくさんの海水があった方がスケールメリットの面で有利です。一方、現取水施設からの供給にはもうほとんど余力がないので、将来の色々な展開のためにはどうしても規模拡大が必要なのです。

そのため、久米島町は2010年頃から海洋深層水の複合利用の将来像「久米島モデル」のコンセプトを打ち出し、それを進化させてきています。目指すのは「エネルギー・水・食糧の自給自足」。そして、次のような地域となることを目標としています。

- 脱炭素社会と地域の産業振興を両立した持続可能な循環型地域
- 研究開発から実証、商用化までを実現できる総合型地域
- 世界の熱帯・亜熱帯の島嶼・沿岸地域へのモデル地域

次回(最終回)は、この久米島モデルと、SDGs等持続可能な社会を目指した世界の動きとの関係を紹介したいと思います。

(一社) GOSEA 事務局 岡村 盡 (地域おこし企業人)
久米島町プロジェクト推進課



「久米島モデル」イメージ図
「エネルギー・水・食糧」の自給自足で、持続可能な島嶼コミュニティを創る！

くめじま花いっぱいコンクール



参加者募集



花いっぱいコンクールとは

花づくりを通して美しく安らぎのある環境をつくとともに、ふれあいと思いやりのある人づくりを目指し、花いっぱい運動の輪を地域全体に広げることを目的とする花のコンクールです。

日程・参加申し込みについて

コンクール開催(花壇の審査): 令和4年3月7日(月)/14日(月) ※審査希望日をどちらか選択

申込期限: 令和4年3月1日(火)~令和4年3月11日(金)

応募方法: 申込用紙を町HP又は、環境保全課で取得し、FAX又は環境保全課にお持ちください。



【バックホーを配備しました】

「特定防衛施設周辺調整交付金」を活用し、バックホーを1台配備しました。

排水路の清掃など効率的に清掃作業を行い、町民の生活環境の改善に努めていきます。



お問合せ 環境保全課 ☎985-7126 FAX 985-7120

Universal Design



本誌はメディア・ユニバーサルデザイン・アドバイザー検定3級取得者の確認・校正作業を経て発刊しています。

UD FONT

広報誌「広報くめじま」はユニバーサルデザイン(UD)の考え方にに基づき、より多くの人へ適切に情報を伝えられるよう配慮した見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

2022(令和4年)3月号 発行/久米島町役場 編集/久米島町役場総務課 TEL.098-985-7121 FAX.098-985-7080

久米島町役場ホームページ <http://www.town.kumejima.okinawa.jp> FMラジオ/ラジオ広報ハイサイくめじま 平日午前10時~11時・午後5時~6時[再放送]